

# 太田東西かわら版 2011.12

久々に「歯に衣着せぬ」かわら版を2011年最後に炸裂させていただきます！

## 「ニセモノ」プラス思考で人類滅亡

プラス思考とは、前向きに、ポジティブに物事を考えること。

苦難や逆境の中でも

「心配ない！ 大丈夫！ なんとかなる！」と考える。

幸せに生きるために、プラス思考はとても大切。

でもちょっと待った！！

その「大丈夫！」「なんとかなる！」と思っている人。

あなたは今、努力して、頑張っていて、そう思っている？

まさか「逃げて」いないよね？

困難に向き合ってそれを解決しようとせず、「まあ～その内なんとかなるだろう」

「なんとかしてもらえるだろう」と問題から逃げていないだろうね？

もし、楽なほうに逃げて、努力もせず、臭いものにフタからの「大丈夫だよ！」

発言なら、それは「ニセモノ」プラス思考だよ！！

今年、ニセモノプラス思考が引き起こしてしまった大事件

「大地震？ 原子力発電所は壊れないから大丈夫！」

その「大丈夫！」が人類滅亡の引き金を引いた。



高度経済成長のもと、日本人は物質的には豊かになった。

確かにその恩恵は否定できない。

しかし、「こころ」は実に貧しく、醜くなってしまったようだ。

ホンモノプラス思考は、「不安心配性」から始まると思う。  
一般に不安心配性を「マイナス思考」として、最悪のことを考え過ぎるから不安心配になるんだと、悪く言われる。  
でもそれは「最悪の結果を想像できる能力がある」ということだ。  
決してネガティブなことばかりではない。  
不安で心配だからこそ、事前にその対策を講じようとする。

一方、ニセモノプラス思考は、想像力欠如、思考停止人間だ。  
自分に不都合なことは考えようとししない。  
最悪のことを想定しない(できない)から、病気を「予防」していくという考えが持てない。  
もし病気になったら、それは医者に治してもらおうものだと思っている。

その“ホンモノ”と“ニセモノ”の間で、よく対立が起きる。  
夫婦ゲンカ、親子ゲンカの大半だ。  
「テレビばかり見ないで、早く寝たほうがいいよ」  
「お風呂は半身浴でゆっくり入ったほうがいいよ」  
「肉ばかり食べずに野菜も食べたほうがいいよ」

相手の健康を心配して声をかける。  
しかし感謝されるどころか、非難される。  
「うるさい!」「黙れ!」「放っておいてくれ!」「大きなお世話だ!」

太田東西薬局でも同じだ。  
そうした人とは信頼関係がうまく築けない...。  
基本、他人にいろいろアドバイスされたくないのだろう。

病気が治らない問題点を指摘され、反省することが大の苦手とみえる。  
基本、自分を変えたくないのだ。  
意地っ張りで、見栄っ張りで、頑固で、強情で、他人の言うことを聞かない。

ホント、「素直」じゃない!

反省して変わろうとする「勇気」もない。

人間はどうも2つのタイプに分かれるようだ。困難（病気）が起こる前に、それを無難にしていこうとする人と、困難を何度も経験しないと、そのことに気づけない人と。いつ、気づいて反省できるか？

それが最初の入院の時かもしれないし、がんを宣告された時かもしれないし、臨終直前かもしれないし、「あの世」でかもしれない（もう遅いか...）。

病気の「予防」。原発の「防災」。

人間は、好きなことばかり、楽なことばかり、金儲けの話ばかり、自分のことばかりに夢中になると、それが薬物中毒のように、脳神経回路をマヒさせて「予防」「防災」「素直」「謙虚」「感謝」という思考が停止するようだ。

3. 1. 1 原発の人災は、まさに人間の傲慢さ、自然への畏怖と感謝を忘れた必然の結果だと思う。

自然に感謝できず、自然の法則に反することを人間が続ければ、どうなるのか？それに人間が気づいて反省するまで、天災人災は続くのかもしれない。食糧、水、海、大地、空気すべて汚染されれば人類滅亡は必至だ。

原発事故が起きた時、ちょうど1年前のかわら版を思い出した。

<http://www.ohta-tozai.com/pdf/kawara2010.12.pdf>

遠くをはかる者は 富み  
近くをはかる者は 貧す

それ遠きをはかる者は 百年のために杉苗を植う  
まして春に蒔きて 秋実るものにおいてや  
故に富あり

近くをはかる者は 春植えて秋実るものをも  
なお遠しとして植えず  
唯眼前の利に迷うて 蒔かずして取り  
植えずして 刈り取ることのみ眼につく  
故に貧窮す

（二宮尊徳）

どうか日本が、遠くをはかる者になり、世界の見本となって富みますように...

## お願いではなく「感謝」を



「初詣」。なぜ新年早々、出掛けるのでしょうか？  
多くの日本人は「お願い」のためと思われる。  
「～なりますように！」「～できますように！」  
たくさんお願い事をする人ほど、お賽銭のほうはケチだったり…。

神様って、人間をお金持ちにするとか、病気を治してくれるとか、嫌な事を回避してくれるとか、そんな人間の都合のよい存在なのではないでしょうか？  
神様にお願いして、一転、貧乏から金持ちに、病気から健康になったとしたら一生懸命に働かなくてもいいし、治療も受けなくていいじゃない。  
ただただ毎日「お願い」していれば、楽しく生きていけるじゃない。

「相変わらず今年の正月も欲深い人間がたくさん集まっているなあ…」  
「お願いばかりされる、こっちの身にもなってよ…」  
毎年毎年、神様も新年からいい迷惑だと思うんですよ（笑）  
「新年を迎えて、今ここに参拝できるのも神様のおかげです。生かされていることに感謝して今年も頑張ります！」  
そう言われたら神様、喜ぶと思うんだけどなあ～。

子供に「お年玉ちょうだい！」「もっと買ってよ！」とお願いばかりされるより、  
「おかげで元気で新年を迎えることができたよ、ありがとう！」と感謝されるほうが親は嬉しいですね。人間の親である神様も、きっと同じはず。

写真は薬局に設置している神棚。  
お札は天照大神（アマテラスオオミカミ）  
毎朝、商売繁盛！のお願いではなく…  
「生かしていただいてありがとうございます」と感謝を捧げています。